



栄仁会 ドキュメント The 舞台裏

第26回 本院の舞台裏を潜入レポートする本企画。今回は栄仁会のサテライト事業所のひとつである新田辺診療所に行ってきました。

トンチで有名な一休さん出身の一休寺もあるの、よければハイキングがてらどうぞ！



駅から徒歩1分で到着！
(久しぶりの来訪なので記念にセルフタイマー撮影)

メンタルケア新田辺の2Fに

建物の玄関ドアから入り、1Fのデイサービスを横目に、傍のエレベータで2Fに昇れば、そこが新田辺診療所だ。



メンタルケア新田辺の玄関



2Fの新田辺診療所

カメラ片手に闖入した私の姿を見ても動じることなく、笑顔で「先生あちらでお待ちですよ」。

案内されるまま廊下を進むと、診察室の奥から所長の村本先生が会釈してくださった。先生、ご無沙汰します。お忙しいところ恐縮です。

「こちらこそよく来てくださいまし。さて、何かからご案内しましょうか？」

「ちなみに今は、診察中とかではないですか？」

「先ほど午前診が終わって、今は書類作業などとしていたところですから、しばらく大丈夫ですよ」

「お会いするのは何年かぶりであるが、変わらず温厚な先生だ。」



所長の村本先生（診察室にて）

「丁寧な診察を心がけておられるんですね。」「再診は1日で40名くらい診ているので、とてもそんなに時間はかけられないですけどね」

「新田辺診療所の特色は何でしょうか？」

「これ！ といった大きな特色はない診療所ですが、他の先生方やスタッフも含めて誠実に対応してくださっていると日々感じています」

「それは基本ながら、とても大切なことだと思います。」「しいて言えば、障害や年齢によって能力が低下した患者さんをフォローする事が求められていると思っています。日常生活でどうしたらいいかわからないときの対処法などについては、診察時だけでなく、電話でも看護師が丁寧に対応してくれています」

「その患者さんの日頃の様子を把握されているからこそ、電話でも適切な助言ができるんじゃないでしょうか。」「あとこれは我々のスキルではないのですが、交通の利便性も特色でしょうか。近鉄、JRともに駅が近いので、北は伏見、東は八幡や枚方、南は奈良との県境あたりまでが患者さんの通院範囲となっています」

「診療所の内装やインテリアも素敵だなと思います。これらも先生のチョイスですか？」

「いえ、私はまったく関与してません(笑)。スタッフに聞いてください」

素敵な内装とインテリア

「……というわけで、内装とインテリアについてはスタッフさんに伺うことに。」「引っ越し前の診療所時代から勤続されて

最寄り駅の近鉄新田辺駅(東口)から

今回ご紹介する新田辺診療所は、さかれば1997年に開設されて、2002年に「メンタルケアセンター新田辺」として訪問看護やデイサービスと統合。その後2014年に100メートル少々南に引っ越しして、「メンタルケア新田辺」の2Fにて現在に至るクリニックである。

引っ越し作業の際は、距離が近いだけに、スタッフが台車で書類を運んだり逆にタイヘンだったらしいけれど、それはさておき。引っ越しされての心機一転スタートから10周年になる新田辺診療所、その現在をうかがってみたい。

こちらの立地は交通の便がよく、近鉄新田辺駅の東口から徒歩1分。駅を出て南向きに歩くと、そのまま正面に建物が見える。

「ちなみに新田辺駅の西口側には、

マスクを着用のうえ中に入ると、受付のスタッフさん2名が出迎えてくださった。

今回取材で伺うことは事前に聞いておられたようで、

笑顔で迎えてくださる受付スタッフさん



笑顔で迎えてくださる受付スタッフさん



笑顔で迎えてくださる受付スタッフさん